



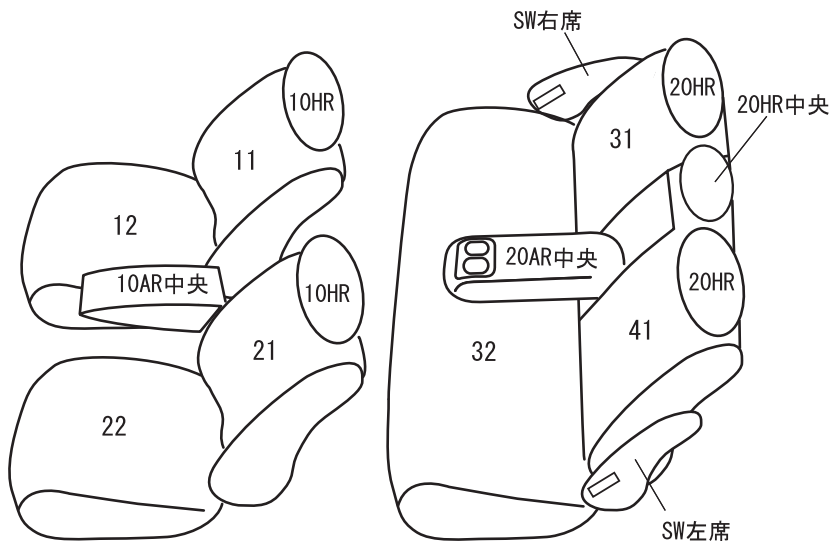
スバル レガシィ

専用シートカバー取付説明書

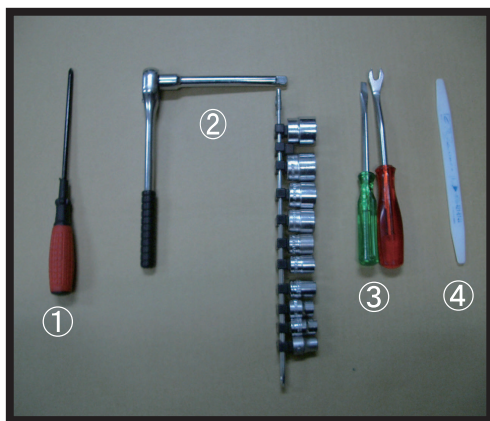
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①の工具を使用します。

*この車種では、②と③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



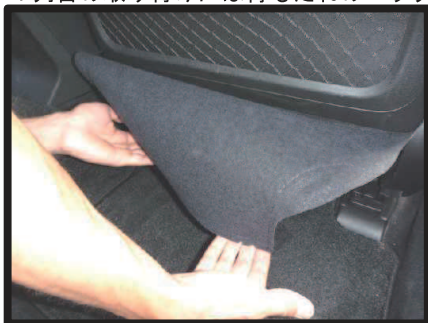
- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



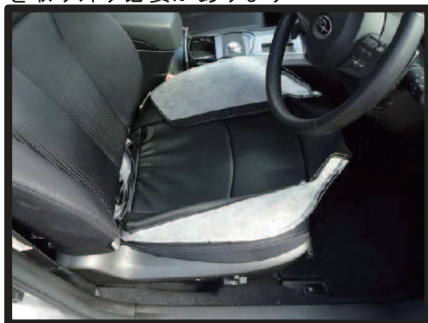
- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面

1 列目の取り付けには背もたれのバックボードを取り外す必要があります



① 始めに背もたれから座面下に覆われている生地を取り外します。生地は座面下にゴムで固定されています。



④ カバーを図のように裏返した状態でシートのラインに合わせてみます。



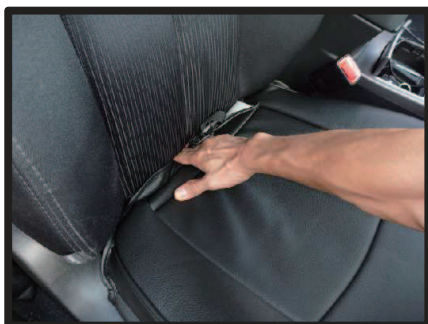
② 生地をめくり上げると、図のようにバックボードを固定するネジがありますので、+ドライバーを使用しネジを外します。(左右2ヶ所)



⑤ 合わせたラインからずれないようにカバーをかぶせていきます。



③ ネジを外し、バックボードを押しながら引き下げると、背もたれに固定されているツメ(図の赤丸部)が外れ、バックボードが取り外せます。



⑥ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、後ろ側から引き出します。



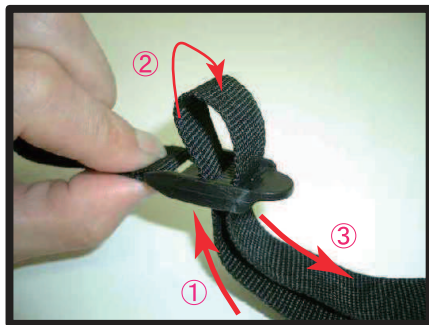
⑦カバー前部に付いているベルトをシートの下側を通し、後ろ側から引き出します。シートの動作に干渉しないよう、図のように金属パーツをかわずようにして下さい。



⑩図のように、シート内側の生地をシートの隙間に入れ込みます。



⑧外側側面の生地をヘラ等を使用し、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑪⑥で入れ込んだ生地が付いているバックルに、⑦で引き出したベルトを固定します。①～③の順番にベルトをバックルに通し、ベルトを引くとカバーが固定されます。

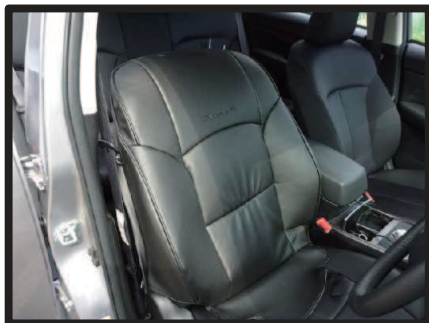


⑨カバーの内側側面には、マジックテープが付いていますので、シートの側面の生地に直接固定します。



⑫カバーのラインを整え、1列目座面の完成です。助手席側も同様に固定します。

1 列目背もたれ



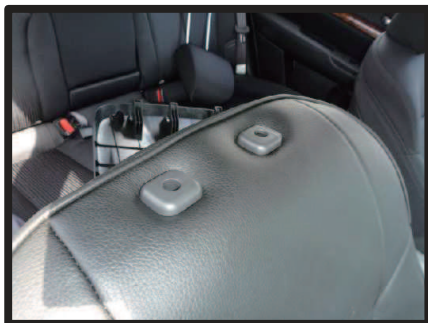
①シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



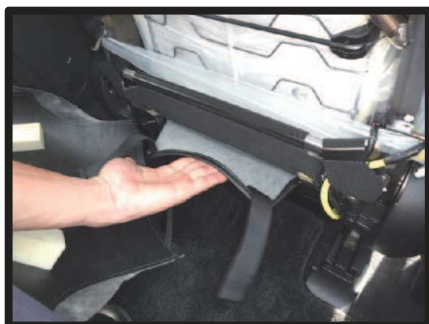
④ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地の利用して横から潜り込ませるように取り出します。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤台座を取り出すと、このようになります。



③入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑥図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、カバーのシワを無くしていきます。



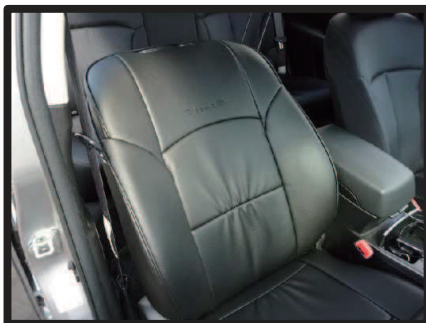
⑦③で引き出した生地についているマジックテープのベルトを、図のように背もたれ中央付近に巻き付け、固定します。



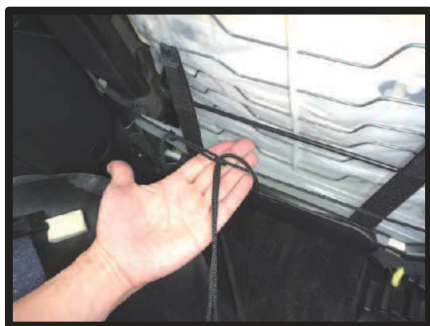
⑩ 1 ページの①～③で取り外した逆の手順で、バックボードを取り付けます。



⑧カバー左右についているヒモを後ろ側へ引き出します。
一方のヒモで輪を作り、もう一方のヒモを輪に通し、引き絞ります。



⑪カバーのラインを整え、1列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



⑨引き絞ったヒモを固定します。
この時点でカバーにたるみがある場合は、⑥～⑧の作業を繰り返し、たるみを無くします。

2列目座面

取り付けには2列目座面を取り外す必要があります



①始めに車体からシートを取り外します。シートは図の矢印の位置に金具で固定されています。



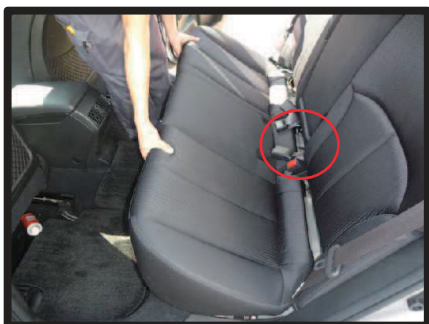
④③の○位置の拡大図です。シート側の金具を車体側の金具から取り外します。



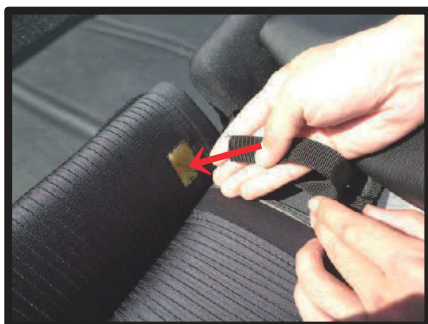
②金具は図のように、手前に引っ張る事でロックが外れますので、ロックを外しながらシートを浮かせるようにする事で金具が外れます。



⑤シートを車体から取り外し、車外の広いスペースへ移動します。シートの移動時に車体を傷付けないよう、注意して下さい。



③金具を外すと、図のようにシートを手前に持ち上げる事が出来ますが、図の○位置に、もう1ヶ所金具で固定されています。



⑥シートのチャイルドシート固定用フック部に付いている生地を外し、図のようにカバーに付いているベルトを通します。



⑦5ページ⑥で通したベルトは、図のようにシートの後ろ側へ引き出します。



⑩シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑧⑦の作業を4ヶ所行います。
※チャイルドシート固定用フックを使用しない場合は、5ページ⑥で外した生地を元に戻します。



⑪シートを裏返し、ベルトとヒモでカバーを固定します。



⑨シートにカバーをかぶせます。
5ページ④で車体とシートを固定していた金具部を、カバーの加工穴から取り出します。



⑫カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。シートは背もたれカバー装着後に元に戻します。

2列目背もたれ



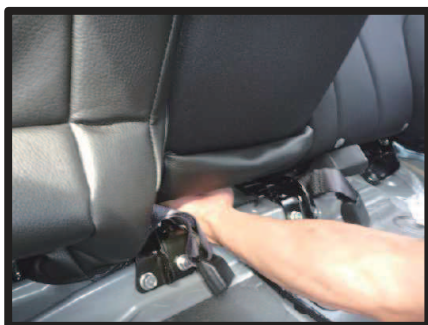
①始めにシートを倒し、背もたれ背面に付いている生地を外します。生地は図のようにクリップで留まっていますので、真上に引き抜きます。



④アームレストの隙間に生地を入れ込み、アームレスト下側から引き出します。



②カバーをかぶせる前に、カバー外側側面のファスナーを開いておきます。シートのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



⑤引き出した生地を背もたれ下の隙間に入れ込みます。



③1列目と同様に、ヘッドレストの台座を取り出します。



⑥カバー前側の生地も背もたれ下の隙間に入れ込みます。



⑦入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



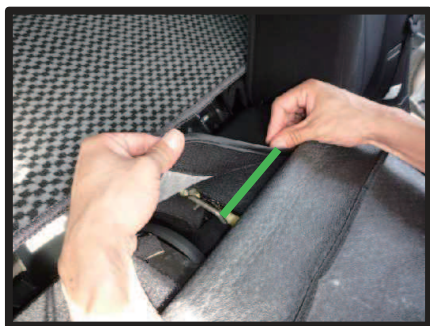
⑩カバー外側面の生地を内へ寄せながら、ファスナーを閉じます。



⑧引き出した生地を7ページ①で外した生地をめくり上げた場所（図の緑のライン）へ、マジックテープで直接固定します。



⑪カバー背面の生地を、シートにマジックテープで直接固定し、7ページ①で外した生地を元に戻します。



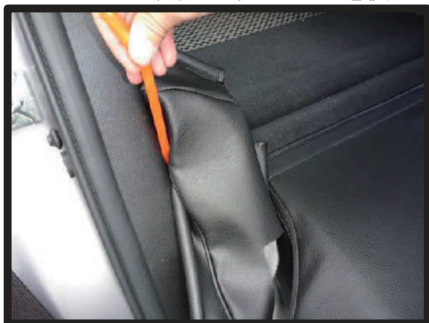
⑨7ページ⑤で入れ込んだ生地も、同様に固定します。



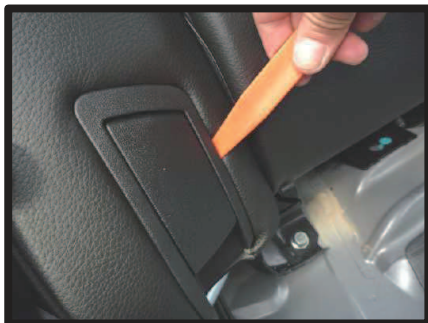
⑫カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。助手席側も一部形状が違いますが、同様に取り付けます。

2列目サイドパーツ

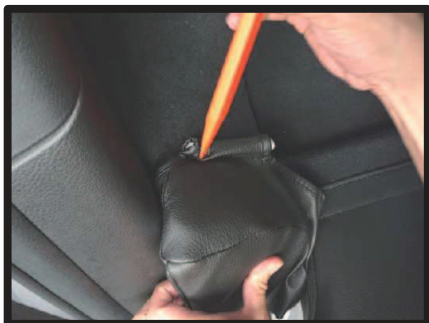
タグにSWと表記のあるカバーを使用します



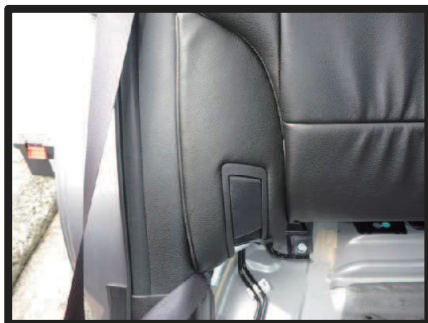
- ①サイドパーツにカバーをかぶせます。
図のように車体の隙間に側面の生地
を入れ込みます。



- ④リクライニングレバー部に、生地を
入れ込みます。



- ②ラインを整えながら、上側の生地も
隙間に入れ込みます。



- ⑤サイドパーツのラインにカバーが合
わさるように整え、2列目サイドパ
ーツの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



- ③内側側面の隙間にも同様に、生地を
入れ込みます。

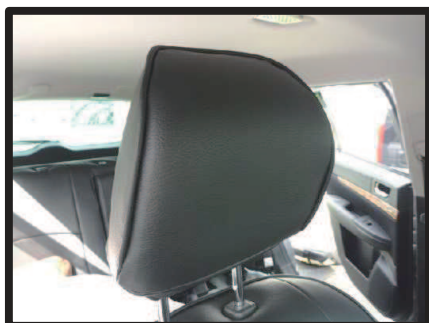
ヘッドレスト



① 1列目ヘッドレストのカバーを半分ほど裏返した状態で、ラインを合わせかぶせます。
平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



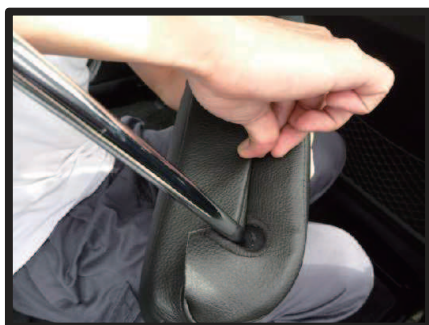
④ プラフックの固定方法は、カギ状のフック部に、平らなプラスチック部を、生地ごと巻き込み固定します。



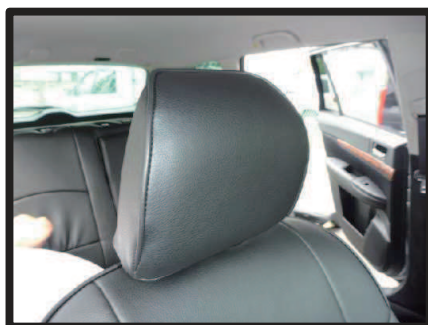
② ラインがずれないように、カバーをかぶせていきます。



⑤ プラフックを正しく固定すると、このようになります。

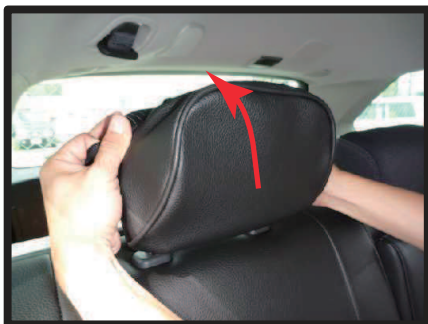


③ ヘッドレストをシートから取り外し、ヘッドレスト裏のプラフックを使用し固定します。



⑥ ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

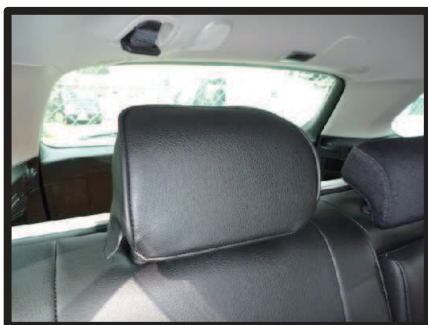
ヘッドレスト続き



⑦ 2列目ヘッドレストのカバーは、ヘッドレストの前側に引っ掛けるようにかぶせます。



⑩ 2列目中央席ヘッドレストも同様に取り付けます。



⑧ ヘッドレスト後ろ側にカバーをかぶせ、ラインを整えます。



⑨ ヘッドレストをシートから取り外し1列目と同様にプラフックで固定すると、2列目ヘッドレストの完成です。

1 列目アームレスト

アームレストを取り外してカバーを装着します



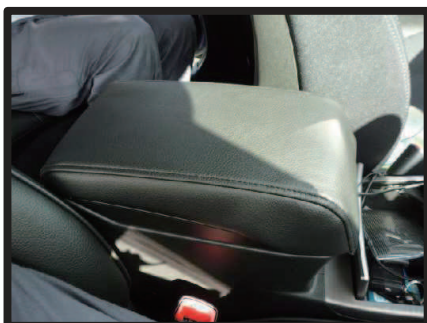
①始めに、アームレストのフタを開け裏側にあるネジを＋ドライバーを使用し外します。（7ヶ所）



④取り外した逆の手順で、アームレストをフタに戻します。



②ネジが外れると、図のようにアームレストが取り外せます。



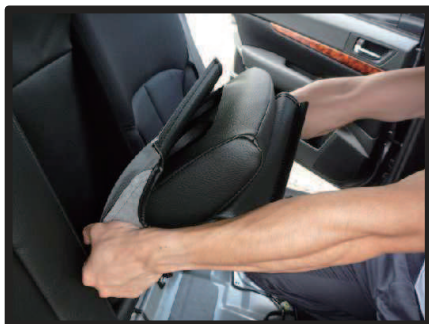
⑤カバーのラインを整え、1列目アームレストの完成です。



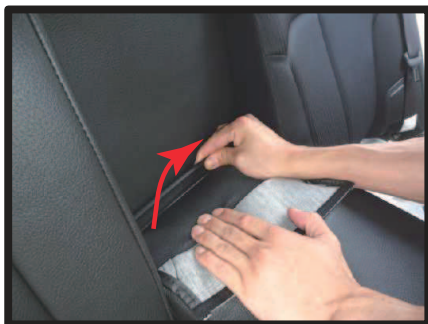
③アームレストのラインに合わせ、カバーをかぶせます。余った生地は、図のように裏側へ巻き込みます。

※カバーに両面テープを貼り付ける事で作業がしやすくなります。

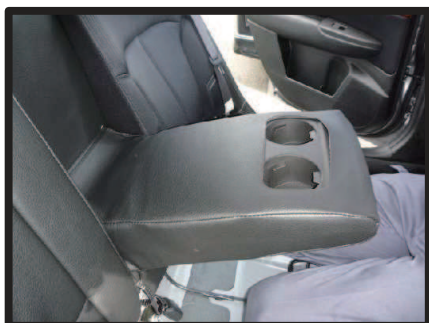
2列目アームレスト



①カバーを半分ほど裏返した状態で、アームレストにかぶせます。先端までしっかりとかぶせて下さい。



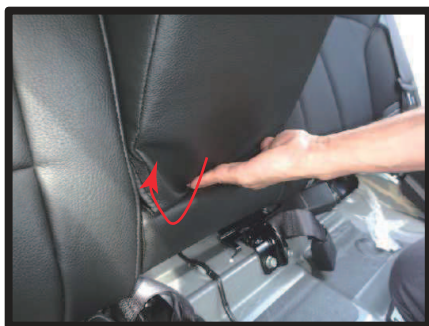
④入れ込んだ生地を図のように引き出し、プラフックで固定します。



②ラインを合わせながら、カバーをかぶせていきます。



⑤カップホルダー部に生地を入れ込みます。

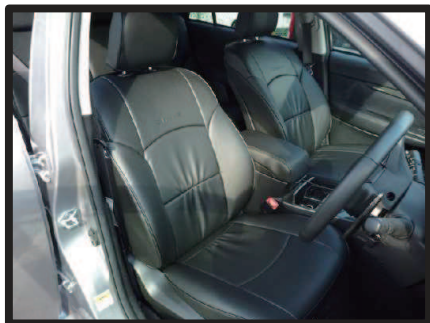


③アームレストと背もたれの間隙に生地を入れ込みます。



⑥カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。

完成図



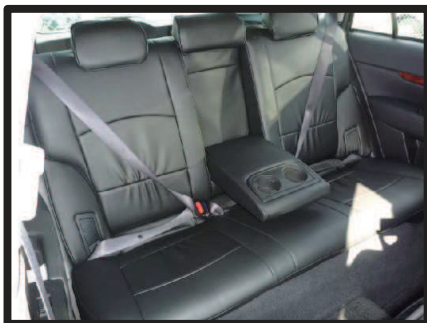
1 列目



1 列目背面



2 列目 (アームレスト格納時)



2 列目 (アームレスト使用時)

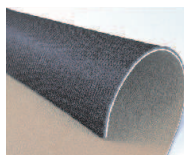


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

